

東京を走らせる力

G M H T C Y Z N F



16-60

2016年7月20日

アルゼンチン共和国ブエノスアイレスで活躍した丸ノ内線旧500形車両が約20年ぶりに東京に里帰りします！

東京メトロ（本社：東京都台東区 社長：奥 義光）では、アルゼンチン共和国ブエノスアイレスで活躍していた丸ノ内線旧500形車両がこのたび里帰りすることとなりました。



【ブエノスアイレスで活躍中の500形車両】



【営団（東京メトロ）時代の500形車両】

7月11日に横浜港大黒ふ頭に到着した500形車両は順次中野車両基地に搬入されます。

500形車両は、1957年から製造された車両で、赤いボディーにサインカーブを施したデザインが特徴であり、40年近く丸ノ内線の顔として親しまれていました。

今回里帰りする車両は、1996年にアルゼンチン共和国ブエノスアイレスに渡り、当地で20年以上活躍していました。

海外での役目を終えて、日本に里帰りすることになった電車は、東京メトロではこの500形車両が初めての電車となります。

今後、中野車両基地等にて車体などの補修を行い、鉄道技術発展に貢献した車両として保存することにより、教育の充実に資するとともに、各種イベントでも活用していく予定です。



【大黒ふ頭に到着した500形車両】